

ドーズ!

ELLIS & GEBBIA

2

\$4.99



サイケデリック間奏曲



\$4.99

ELLIS & GEBBIA



全員動くな！
犯行現場に捜査が入る！
動くものはただちに
取り押さえるぞ！

DOSE!

2

created by SEAN ELLIS & JOHN GEBBIA

story SEAN ELLIS

art JOHN GEBBIA

JP Translation YOSHIKO ICHIKAWA



原作 ショーン・エリス

作画 ジョン・ゲビア

訳市川佳子

Please read this comic from left to right

この作品は、左から右へ読んでください。

DOSE#1 JAPANESE EDITION SEPTEMBER 2023. FIRST PRINTING. DOSE! is
(c) 2023 Sean Ellis and John Gebbia. All Rights Reserved.
Any similarities to persons living or dead are purely
coincidental. With the exception of artwork used for review
purposes, none of the contents of this publication may be
reprinted without the permission of KAIJU COMIX. Printed in USA.



サイオニック・ミーティング

ON THE

ASTRAL PLANE

原作:
シヨーン
エリス

作画:
ジヨン
ゲビア

アストラル界でのサイオニック・ミーティング

サイレンス、
新しい仲間につなげてくれ。
話したいことがある

かしこまりました。
少々お待ちを。





まったく、
なんでヴィスバを血洗い機能付きに
アップデートしてないんだよ、
もうウンザリだ。

ん!?

ホワイト・メナス、
お忙しいところ恐れ入りますが、
ギロチンII世がメタ・ケイトと一緒に
テレパシー・
ミーティングを希望しています。



よろしいでしょうか?

あ、ああ、
もちろんだ!
えーと、
ケイトはまだ寝て...



KATE, WAKE UP!
WAKE UP, KATE!
ケイト、起きろ! 起きろ、ケイト!

メタ・ケイト、
お休みのところ申し訳ありません。
ギロチンII世がテレパシー・
ミーティングを希望しています。



よろしいでしょうか?

うう〜ん...
頭の中で喋りかけてくる変な声...
あなたは誰?

私の名は
サイレンス。
「プロフェツ」
に仕える使者です。



じゃ、
さっさと着替えるって!

でも
まだ服着てないんですけど。

はい、はい、どならないで。
今起きるから。
で、テレパシー・ミーティングって
一体何なのよ。



ミーティングではふさわしい服装の
プロジェクションをご用意いたしますので、
ご心配いりません。

あら、
だったら先に
そう言ってよね。
いいわ、ミーティングに
入れてちょうだい

それでは
サイオニック・トランスファーの
準備をどうぞ。

ホワイト・メナス、
メタ・ケイト。
送ってくれた荷物を受け取ったぞ

我々プロフェッツは、君たちように
若く、才能に溢れ、
革新的なアイデアを持った
起業家とのコラボレーションを大いに好む。

緊張なくていい。
君たちはもうファミリーの一員だ。

喜んでいただけたようで光栄です。
ええと、ギロチンII世さま。
あなたたちと共に働けることは、
僕らにとって一種の、
そうですね、
夢のようなものだったのです。

メタ・ケイト、
大丈夫ですか？

サイレンス、
またあなたなの？

気分が悪いわ。

プロフェッツは完璧な組織体制、そして
我々が成功するのにも完璧な環境だ。

ただ今
お助けいたします。

サイオニック・ミーティング中は
方向感覚を失ってしまうことが
あるので—

はじめての場合は特に

いかがでしょうか？

ああいったアプローチの仕方
をしたということは、
よくわかっているな、
と感じたよ。

君たちのような考え方を
持つ者は少ない。
だいたいこちらから連絡を
とらないと
いけないことが多いからね。

何してるのよ？

大したことはしていません。
平衡感覚のバランスを調整し、
不安を取り除き、幸福ホルモンを
放出させているだけです。

気分はいかがですか？

なんだか電気でできた綿あめの
雲の上を浮いているみたい。

ちょっと待って。

あなたまさか、
あたしの頭の中を覗いて...
何を考えているか読んでいる？

そんなこと
してないわよね？

とても良い、興味深い質問ですね、ケイト。
いわゆる人の心を読むということはできませんが、
思考にチューニングし聞き取ることはできます。

しかし本人の承諾なくそのような事
を行うことは、プロフェツの
行動規範と倫理に反することになります。

これはその人物が敵でない場合に限り、ですが。
ケイト、あなたは我々の敵ではないでしょう？

そんなことになれば、
関係の始まりとしては良くない。

当然よ、そんなはずないじゃない。
ただ、私って...ちょっとクレイジーだから。
意味わかるでしょ？

あなたの意識と我々の意識を
すべて、アストラル界に
プロジェクション
して映し出しているのです。

ところで一体ここはどこ？

アストラル界は、
物質世界よりも何千倍もの大きさを持っています。
もし迷子になってしまえば、
二度と帰って来られないでしょう。

でもご心配なく。
ちゃんと見ていますから。



かわいそうな娘...

僕たちは、
必要としている人々の面倒を見て、
やるべきことをやろうとしているだけです。

プロフェッツが用意して下さるような
環境であれば、余計な心配をせずに
心置きなくパーティーとケイトの
パフォーマンスに集中できます。

我々はただのビジネスを
する団体じゃないからな。
俺たちの戒律は、
人生とはなにか、
その条理を示している。

戒律に忠実に従うほど、
夢や求めるものを
実現することが容易になる。



プロフェッツは私達。
倫理などは通用しない。

さて、どれどれ...

ドラッグの使用に関しては不安、
でも人生の意義はほとんど
ドラッグから由来するもの。

あなたは...不安なのね...。
必要なのは、スペシャル
ケア、特別な保護。

あなたはこれまでの人生、
様々な経験をしたよね...
トラウマがある...そして自分の
持つ特別な力によって
...疲弊している。



君たちも一度、
セミナーに来るといい。

ちょうど今も観客が
待っているところだ。
もう行かねば!

出番までの時間を
お知らせします。
残りあと1分です。



あなたも、いつかショーを
見に来るといいわ。

今回は気持ち良くしてあげる。



一緒に稼ぐのを
楽しみにしてるぞ!



それでは、
次に会う日まで。

おいハニー、
大丈夫か?

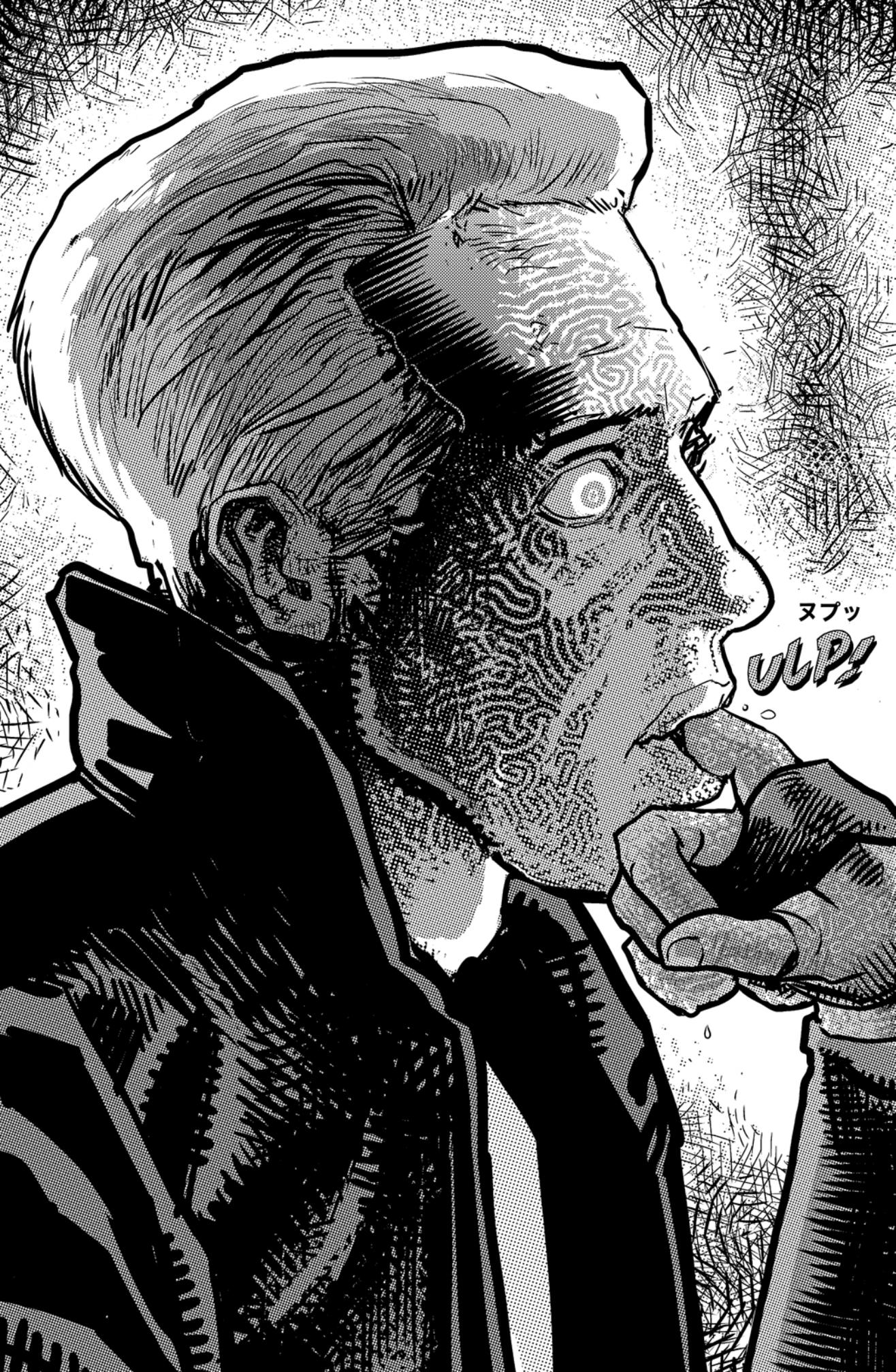


後ろの方で随分と静か
だったじゃないか。

あの親切な
女の人と話してたの。

は?サイレンスの事か?!
あいつはプロフェッツの暗殺者だぞ、
血も涙もない殺人鬼だ!





ヌブッ

ULP!



トランザクショナルな

超次元の現実の

パラレルは

プロトタイプを

知覚の

表す

それは、
眩くばかりのエッセンスに包まれ

揮散し

導かれる……



実存的な

合成物に関する理解が

存在しない合成的陶醉

共感覚

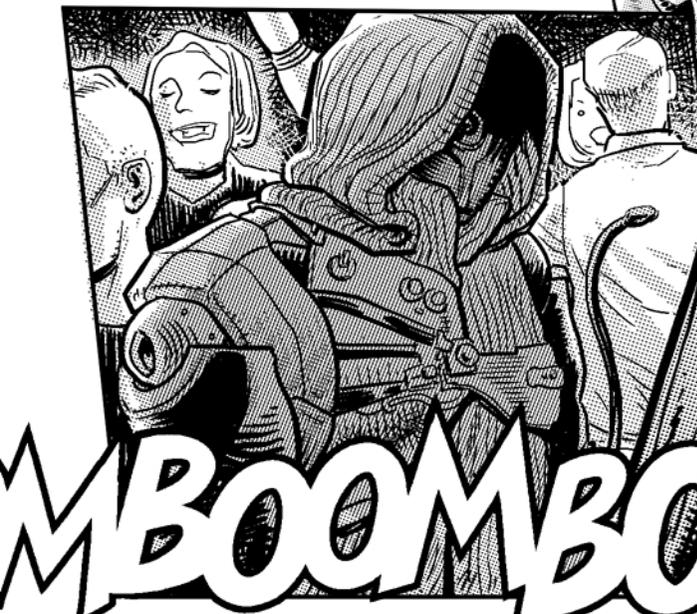
想像を絶する

知覚不可能な結末へ...





ドラッグによる
啓示は



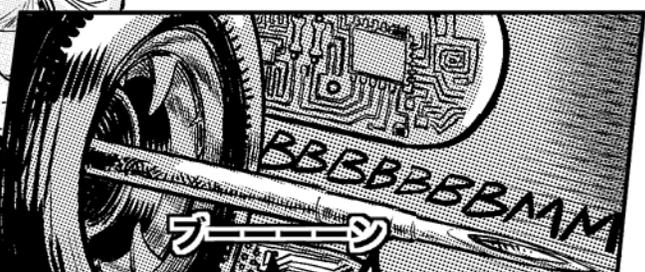
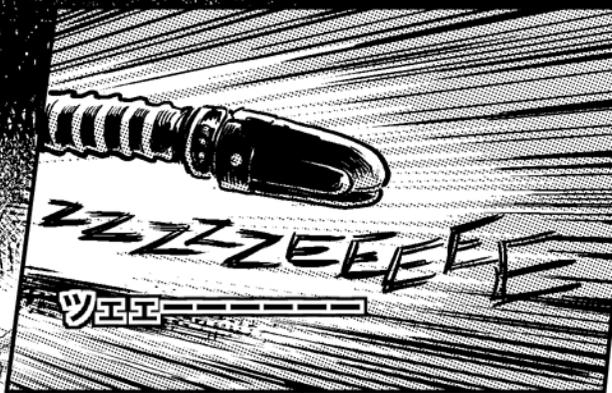
BOOMBOOMBOOM



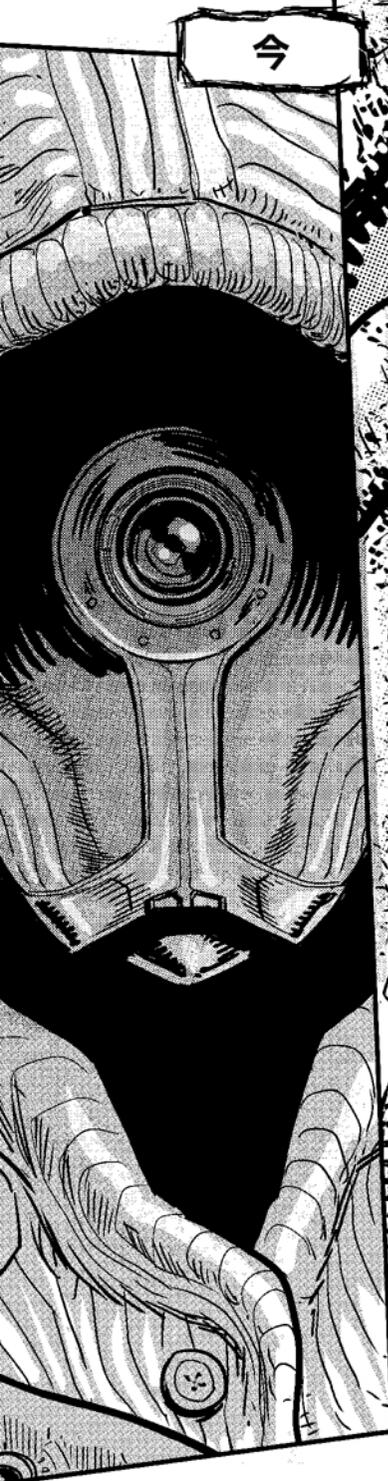
単なる錯覚なのか

それとも

悟りへの道か?



BOOMBOOMBOOM



今



この気持ちを



ずっと内に



感じていたい

これから

最期の呼吸の

瞬間まで



まるで

体中の細胞が

同時に

共鳴しながら

ひとつの

オーガズムを

感じているかのよう



ドサツ



AA
EE
E!!
!!

ぎやあああ



これも
ショーの演出か？



パンツ



パンツ



パンツ

POP

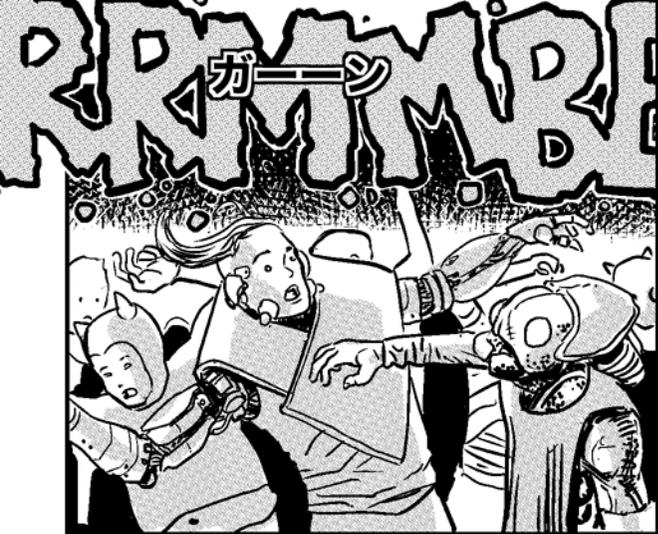


一体全体
何が起きてるんだ!?



すぐに警察が来るはずだ。
ここを出ないと。
あの女の人の後を追おう。





ガン



ガンツ



KKKKRRMM...

ガラガラガラ...

KKRRRKKMM



ガラガラガラ

CRUMMBLLKRM
CRM
LRL
BB
CRR
BR
RRBLL

全員動くな！
犯行現場に捜査が入る！
動くものはただちに押しさえるぞ！

これが
最後の警告だ！

ガラガラガラガラ...

RRRMMBBLLRR



犯現場の第一スキャンングで
ヴィスバが見つけたものは？



バイオ・メタ汚染が
このエリア内で
確認された。
しかしメタ・
アビリティの
データベースでは
ヒットなし。

被害者の
IDは？

これはコーデル・
テルモント、
またの名をホワイト・
メナスのものだ。
メタ・ヒューマン。27歳。
西サンフランシスコ大学
イベント企画 学科卒。
ヴィーガン。逮捕歴なし。



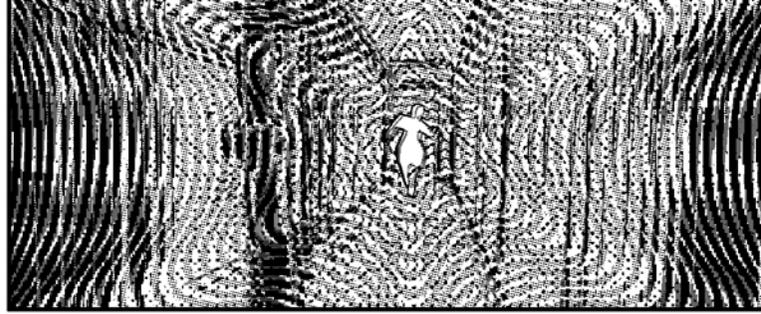
なんて始末だ。



さて、はじめるぞ。
ヴィスバにポスト認知スキャンをさせる。
ここにいる全員、外に出す前にだ。
それから一帯を3Dスキャンだ。

承知しました！

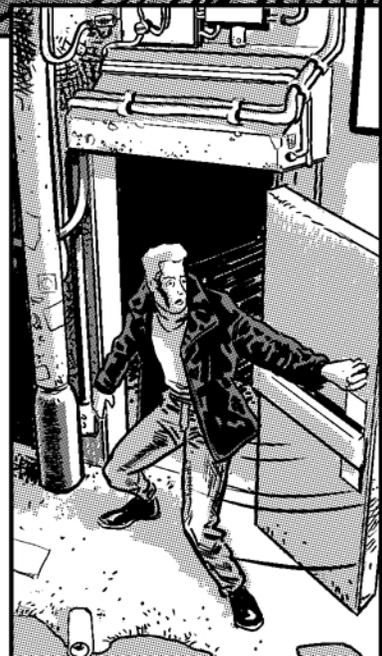
いた！
あっちが出口だ。



まだハイで視界が...
ここから一生出られないかもな。



道は1つだ。







HOW'S THAT TASTE?!
くらえっ!



取り押さえに抵抗し複数の警官を暴行した罪で告発する。
しかしオムニ・ネット上の顔データでは認識不能。

IDが一切ナンシ？
おかしいな。
目撃者がいないか周辺の検索を続ける。





顔面に内蔵を
浴びたのは今日が初めて...
と言いたいとこだが。
しかしなんであんな風に
何人も吹っ飛んだ？
一体誰がそんなことを？

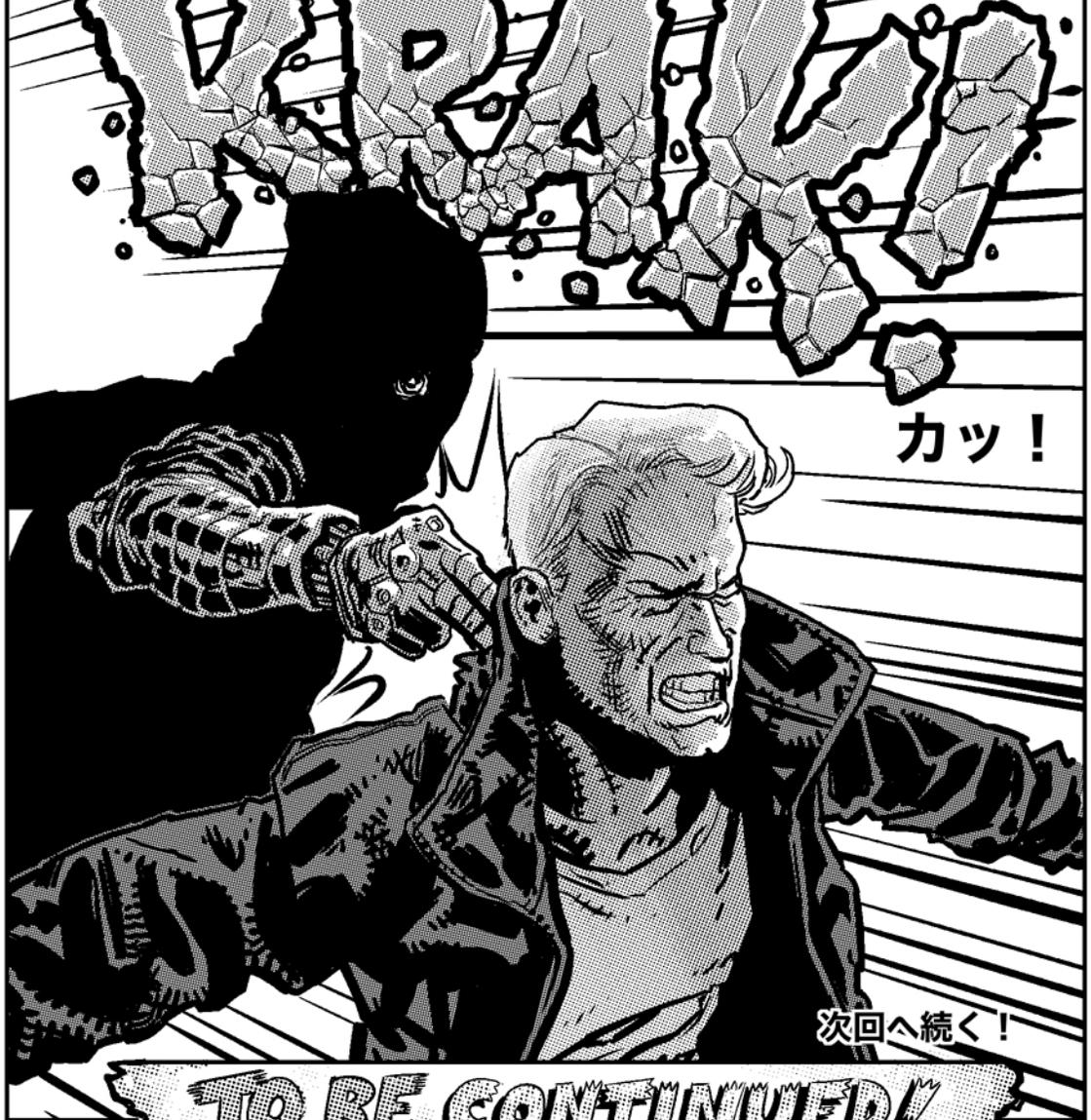


次にソニーが
出かけるって言ったら...
まあ、無駄ではなかったが。
まだ相当目にきてる。
落ち着かないと。

家に帰ってゆっくりする時間だ。



クソッ
あと飯も食わないないと...



カッ！

次回へ続く！

TO BE CONTINUED!

TRINEON SECTOR

SHIN PORTERO SUBSECTOR



